

【活動計画】

1 母藻の設置

- ・繊維状の基質（シールート）を用いてサガラメ移植基を作成する。
- ・相良沖に作成した移植基を設置する。

2 種苗の投入

- ・御前崎港周辺・御前崎沖にカジメ種苗、相良沖にサガラメ種苗の投入を行う。

3 モニタリング

- ・各活動区域において、潜水調査による定点観測を行い、活動区域ごとの平均被度を算出する。

●令和4年度の取組状況

【実績】

1 母藻の設置



■サガラメ移植基



■ダイバーによる設置作業



■海底に設置した移植基

2 種苗の投入



■海岸へ漂着したカジメ



■子嚢斑が出ている個体をスポアバッグに充填



■活動区域に投入

3 モニタリング



■藻食性魚類による食害が見られるカジメ藻場



■藻場保全活動により回復したカジメ藻場

【これからの課題】

県による調査では、継続的な対策によるカジメ群落の復活が確認できています。しかしながら、8000haといわれた往年の藻場復活には程遠い状況です。カジメ藻場の状況

をモニタリング等で確認しつつ、引き続き地元特産品であったサガラメ藻場の復活への取り組みにも力を入れて行っていきます。